

『17 - 18 世紀の音楽から見る ヨーロッパの旅シリーズ 3 回公演（イタリア編、フランス編、ドイツ編）』

《概要》

古楽器を用いた、バロック音楽のコンサートを 3 回シリーズで上演予定。17 - 18 世紀に、ヨーロッパの主要な土地（ドイツ、フランス、イタリア）で演奏された、優雅な楽曲をシリーズで公演することで、国ごとの特色の違いも楽しめるコンサートを企画。

昨年はコロナ禍によりコンサートが軒並みキャンセルとなり、人前で演奏の機会が減ってしまった。毎回異なるゲストを招聘することで、音楽家の演奏の場を提供すると共に様々な編成でバロック音楽を楽しんでもらえる企画となっている。また、このコンサートを通じて、音楽文化の再起と自己研鑽へ繋げていく。音楽家同士で古楽について、掘り下げたトークとオンラインでの配信も予定。

また、同日の別時間で「ファミリーコンサート」（12 歳以下の子供、保護者無料）も企画しており、次世代に古楽への興味をもってもらう為、子供向けの選曲でコンサートを開催する。さらにお子さんがいることで普段なかなか行けない子育て世代にも同時に働きかけたい。コンサート後には、楽器見学ツアーを行う。普段見る機会のない古楽器を間近で見学し、奏者からの説明を通じてさらに興味を深めてもらう。45 分程度のプログラムで構成。神戸市の小学校や保育園、幼稚園に向けて広報を行う。安全面を考慮した上で、保護者を含む先着 30 名までの集客を予定。

《目的・達成したい成果》

関西圏では、古楽のコンサートは数少なく、著名な作家の作品が演奏されることが多い。しかし、私は古楽奏者の演奏の場を増やすと共に、まだあまり知られていない作家の素晴らしい楽曲を取り上げ、音楽に関心のある人に分かりやすくその魅力を伝えたいと考えている。

また、コロナ禍により減ってしまった演奏の機会を定期的を持つことで、生音の大切さを伝えていくと共に、奏者同士お互いに刺激し合えるような環境を作っていきたい。

《スケジュール》

第一回 9 月 19 日 ①ファミリーコンサート 14:00~14:45 ②本公演 16:30~18:00
第二回 10 月 17 日 ①ファミリーコンサート 14:00~14:45 ②本公演 16:30~18:00
第三回 11 月 21 日 ①ファミリーコンサート 14:00~14:45 ②本公演 16:30~18:00

《将来の夢》

バロック音楽を通じて音楽家同士のつながりを作ることにより、様々な編成や公演形態に奏者が挑戦できる環境や、一般の人が古楽に触れられる機会を増やしたい。定期的にコンサートを企画する事で、関西のここに行けば古楽を聴けるという場を将来的に提供したい。今後は、海外の奏者とのコラボレーションを視野に入れている。彼らを日本に招聘することで国内の古楽奏者にとって刺激となる企画を展開し、国内での活動を海外に向けても積極的に配信していきたい。

《プロフィール》

橋詰^{はしづめ}シャフィック（チェロ、ヴィオラ・ダ・ガンバ奏者）

2008年大阪音楽大学短期学部卒業、2013年パルマ国立音楽院チェロ科にてディプロマを取得、2017年同音楽院にてヴィオラ・ダ・ガンバ科修士課程を首席で卒業。チェロを上塚憲一氏、E コンティーニ氏に師事。バロックチェロをC ボエルスマ氏に師事。ヴィオラ・ダ・ガンバをR ジーニ氏に師事。G ナジッロ氏、A グエッレーロ氏にバロックチェロのレッスンを、L ドゥフトシュミット氏にヴィオラ・ダ・ガンバのレッスンを受ける。また、様々な室内楽マスタークラスを受講し研鑽を積む。在学中にパルマ国立音楽院新人演奏会出演。イタリア各地にてバロックを中心にソロ、室内楽、オーケストラなどで活動する。帰国後、バロック音楽普及するために関西を中心に活動中。2019年、チェンバロ奏者 平出智子とデュオ「ジュ・ヌ・セ・クワ めくるめくフランス・バロックの響き」滋賀にてコンサート 2019年、フルート奏者の折井あきつとチェンバロ奏者の染田真実子とトリオ「レ・グ・レユニ〜美感の融合」兵庫にてコンサート 2020年、コンテンポラリーダンス作品「Pb」高松公演 ソロ奏者出演定期的にコンサートや舞踊作品での演奏なども行う。